

※登録番号No. _____

※受付No. _____

日本臨床救急医学会評議員審査申請書

2024年 月 日

一般社団法人 日本臨床救急医学会

代表理事 溝端 康光 殿

一般社団法人 日本臨床救急医学会評議員となるための審査を申請します。

フリガナ

申請者氏名 _____

生年月日 西暦 年 月 日 (満 歳) *申請書提出時の満年齢を記入下さい

現勤務施設名 _____

(所属名 _____)

施設概要 ^{*1} _____

施設住所 〒 _____

TEL _____

申請者現住所 〒 _____

TEL _____

郵便物送付先 〒 _____

TEL _____

メールアドレス _____

日本臨床救急医学会における会員歴

西暦 年 月 日本臨床救急医学会に入会

(会員番号: _____)

※会費完納確認: _____ (印)

※の部分は事務局記入欄のため、記入しないでください。

資格

(医師、看護師、救急救命士免許等)*2

西暦 年 月

(免許証番号)

学歴

(最終学歴)

西暦 年 月

(卒業)

経歴

(年 月)

--	--

※新規申請時のみ、現評議員1名の推薦が必要。再任の場合は不要。

※推薦書の記入は直筆のこと。

※推薦者は本学会評議員に限る。

推 薦 書

下記の者を日本臨床救急医学会評議員として推薦します。

被 推 薦 者 氏 名 _____

【推薦者情報】

推 薦 者 氏 名 _____

推 薦 者 所 属 _____

推 薦 者 連 絡 先 TEL: _____ FAX: _____

メー ル ア ド レ ス _____

業 績

*3. 4. 5. 6. 7. 8. 次ページ参照

(1) 論文*3*4*5*6 (日本臨床救急医学会、その他の関連学会*8の機関誌に掲載された救急医療に関連した論文)

添付資料	筆頭著者名	題 名	誌名	公刊年; 卷; 頁-頁	筆頭・共著 の別	※判定
1-1						
1-2						
1-3						
1-4						
1-5						

(2) 研究発表*3*4*5*6*7 (日本臨床救急医学会、その他の関連学会*8の主催する集会における救急医療に関連した発表)

添付資料	筆頭発表者名	演 題 名	学会名	一般・シンポ・ パネル等の別	発表年月日	※判定
2-1						
2-2						
2-3						
2-4						
2-5						

(3) その他の業績*3*4*5*6 (日本臨床救急医学会、関連学会*8への出席、セミナー、メディカルコントロール等への参加)

添付資料	活動年月日	活 動 内 容	学会名・主催者名	※判定
3-1				
3-2				
3-3				
3-4				
3-5				

医師は(1)論文、(2)研究発表 の欄のみの記入で可。(3)欄は、(1)・(2)が少ない申請者の業績記入欄である。

医師の業績については、(1)論文、(2)研究発表 を重視する。

※は記入しないでください。

《記載・提出の注意事項》

推薦書以外は入力可。推薦書は直筆のこと。

- *1. (高度)救命救急センターの場合は、それを明示すること。
それ以外の医療施設の場合は、ベッド数、年間救急車搬入台数等の医療施設の規模が把握できる数値を、
また、消防機関の場合は、年間救急車搬送台数等の消防署の規模が把握できる数値を明示すること。
- *2. その他の組織で働く場合、またはその他の職種の場合は、具体的に記述すること。
- *3. 自身の名前の箇所にはマーカー等色付けする。
- *4. (1)、(2)、(3)の業績については、証明書類の右肩に、それぞれ資料番号を明記すること。
- *5. (1)、(2)、(3)の各項目も、最近5年間(令和元(2019)年7月～令和6(2024)年6月)の主要な5件に限る。
- *6. (1)、(2)、(3)の業績については、審査申請書とともに次の各項目の資料を提出するものとする。
証明書をコピーする場合には、A4サイズに統一すること。

I. (1)の業績については、次のとおりとする。

- a. 論文については、その別刷または雑誌名、著者、題名など必要事項を明示することのできる紙面の複写。
- b. 著書については、分担執筆であるか否か、および筆頭著者かまたは編集、監修、翻訳などに携わった
など、必要事項を明示することのできる目次などの複写。

II. (2)の業績については、次のとおりとする。

- a. 論文形式によって掲載された記録のあるものは、その印刷または複写。
- b. 論文形式によって掲載された記録のないものは、その学術集会のプログラムまたは抄録集などの該当部分
を明示することのできる複写。

III. (3)の業績については、次のとおりとする。

- a. セミナー等への参加(講師、受講)が証明できる文書または受講証等の複写。

*7. (2)は、座長・司会も可とする。

*8. 本学会以外で評価対象となる学会並びに研究会等

1) 救急医学に関連する日本医学会分科会(地方会は除く)

日本医学会総会	日本救急医学会	日本内科学会	日本小児科学会
日本循環器学会	日本外科学会	日本整形外科学会	日本麻酔科学会
日本胸部外科学会	日本脳神経外科学会	日本形成外科学会	日本小児外科学会
日本消化器外科学会	日本消化器病学会	日本心臓血管外科学会	日本集中治療医学会
日本感染症学会	日本職業・災害医学会	日本脳卒中学会	日本呼吸器外科学会
日本呼吸器学会	日本医学放射線学会	日本インターベンショナルラジオロジー学会	日本感染症学会
日本血液学会	日本血栓止血学会	日本細菌学会	日本超音波医学会
日本糖尿病学会	日本臨床検査医学会	日本臨床細胞学会	日本輸血・細胞治療学会

2) その他の学会・団体・研究会(地方会は除く)

日本中毒学会	日本熱傷学会	日本蘇生学会	日本腹部救急医学会
日本臨床外科学会	日本脳死脳蘇生学会	日本外傷学会	日本救命医療学会
日本災害医学会	日本小児救急医学会	日本神経救急学会	日本脳神経外科救急学会
日本心臓病学会	日本脳神経外傷学会	日本航空医療学会	日本プライマリ・ケア連合学会
日本臨床麻酔学会	日本精神科救急学会	日本組織移植学会	日本臨床高気圧酸素・潜水医学会
日本看護協会	日本救急看護学会	日本災害看護学会	日本手術看護学会
全国救急隊員シンポジウム	日本交通科学学会	日本医療検査科学会	日本医療情報学会
日本医療薬学会	日本救急放射線研究会	日本クリティカルケア看護学会	日本検査血液学会
日本災害医療薬剤師学会	日本不整脈心電学会	日本放射線技術学会	日本診療放射線技師会
日本薬学会	日本臨床衛生検査技師会	日本臨床化学会	日本臨床微生物学会
生物試料分析科学会	体液・代謝管理研究会		

3) 英文誌掲載論文も対象とする。ただし業績とするか否かの判断は選出委員会による。

4) JPTEC、ACLS、その他の講習会等のインストラクター

※ 医師以外の職種については、地方会での発表および地方会誌の論文も可。

紙面が不足する場合、および医師以外の会員で活動内容を簡略に説明しにくい場合は、
別の用紙又は資料を自由に添付してよい。